

## 令和6年度国内クリエイター制作交流プログラム 募集要項

トーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）では、さまざまな分野のクリエイターを対象に、東京に滞在し、制作やリサーチ活動の機会を提供する多彩なレジデンス・プログラムを展開しています。また、オープン・スタジオやトークなどのイベントを開催し、創造的な交流や成果発表の機会を設けています。

この度、ヴィジュアルアート、映画/映像、デザイン、建築の分野で活動し、「**分断を越えて | Beyond Divisions**」のテーマのもと、2024年5月～7月に滞在制作を行う日本在住クリエイター2組を募集します。この2組は、同期間と同じテーマで制作活動をする、海外クリエイター招聘プログラム参加クリエイター2組と対話や議論の場を持ちながらそれぞれ個別に制作活動を行い、その成果をオープン・スタジオや、翌年TOKAS本郷で行われるレジデンス成果発表展などで発表します。

### 1. プログラムテーマ：「**分断を越えて | Beyond Divisions**」

新型コロナウイルス感染症により生じた大きな変化のひとつに、他者とのコミュニケーションのあり方が挙げられるでしょう。家で過ごす時間が増え家族との会話が増加した人がある一方で、多くの人々にとって他者との直接的な対話の機会は急速に失われました。それに代わってオンライン上の交流や情報収集が急増する中、エコーチェンバー現象\*のような思考の偏りや SNS 上の中傷、フェイクニュースの拡散が問題となりつつあります。こうした歪んだ社会が行きつく先にあるのは、多様性に寛容な社会とはかけ離れたものでしょう。

オーストリア出身の哲学者カール・ポパーは、1945年に「寛容のパラドックス」という考えを『開かれた社会とその敵 第1部』（岩波書店、2023年）の中で定義しました。その中でポパーは、「もし我々が不寛容な人々に対しても無制限の寛容を広げるならば（中略）寛容な人々は滅ぼされ、その寛容も彼らとともに滅ぼされる」と述べます。無制限な寛容は成り立たないとするその言説は、一見、理想的な状況のように見えても、どちらか一方に振り切った社会は立ち行かないことを暗示します。分断や対立、格差が広がる現代社会において、対等な立場で議論を交わし、冷静な対話を試みることを。そうした当たり前のコミュニケーションが、今求められているのかもしれません。

TOKAS レジデンスでは、様々なバックグラウンドの表現者たちが、東京あるいは日本を軸に制作を行う過程で、思想や認識、行為や言語など文化間の差異について活発に意見交換し、制作を行うことを目的に、2024年5月～7月に、本テーマのもと滞在制作を行うクリエイターを募集します。多様なアイデンティティが交差する都市東京で、分断を越えるという枠組みをとおしてそれぞれが自身の制作テーマを多角的に考察する機会となることを願います。

\*SNS等において、似た考えや価値観を持つもの同士でコミュニケーションが繰り返されることで、特定の意見や思想が増幅されて影響をもつ現象

## 2. 募集対象

- ・国際的に活動する海外のクリエイターと制作や議論の場を共にし、活動の枠を広げたいと考えているクリエイター。
- ・ヴィジュアルアート、映画/映像、デザイン、建築のいずれかの分野で活動するクリエイター。
- ・他の滞在クリエイター、キュレーターとの交流に意欲のあるクリエイター。

## 3. 滞在期間及び募集人数

[滞在期間]

2024年5月上旬～7月下旬

[募集人数]

2組

## 4. サポート内容

- －居室（シングルルーム） ※デュオの場合はツインルームを提供。
- －シェアスタジオ
- －滞在費：一日 2,250 円（消費税別）
- －制作費：300,000 円（消費税別）
- －国内交通費

※居住地の最寄り駅から TOKAS レジデンスまでの最も経済的な通常の経路及び方法での往復交通費を提供。

※上記金額から源泉所得税（10.21%）を差し引いた金額を支払います。

## 5. 応募資格

- ① 日本国内に居住していること。
- ② 活動している分野で5年以上の実績があること。
- ③ 海外クリエイターと積極的にコミュニケーションを取るための英語力を有すること。
- ④ 自立して生活、制作、リサーチ活動ができること。
- ⑤ 一次選考を通過した場合は二次選考の面接に必ず出席できること。※遠方に居住の場合はオンラインも可。
- ⑥ 個人またはデュオで活動しているクリエイター。
- ⑦ 原則として、学生は対象外。ただし滞在時点で博士課程在籍中の学生は除く。

## 6. 参加条件

- ① 提示された滞在期間を通して継続して滞在し、制作活動に専念できること。（他所への通勤や通学は不可。）
- ② 滞在制作の成果をオープン・スタジオで発表すること、またプロジェクトの活動報告書を提出すること。
- ③ TOKAS が求める場合には、成果展やその他のプログラムへ参加し、広報活動に協力すること。
- ④ レジデンス期間を通して、商業活動や他の営利活動をしないこと。
- ⑤ TOKAS レジデンス内で楽器演奏を含む、大きな音や振動を出す活動をしないこと。
- ⑥ 滞在は参加クリエイター本人のみとする。家族、パートナー、友人、ゲスト等の宿泊は認めない。

## 7. 応募締切

応募申込期限：2023年6月26日（月）日本時間 18:00 まで

作品データ提出期限：2023年7月3日（月）日本時間 23:00 まで

## 8. 選考日程

①一次選考（書類審査）：2023年8月（予定）

※結果は一次選考通過者にのみ個別にご連絡いたします。

②二次選考（面接）：2023年8月下旬（予定）

会場：トーキョーアーツアンドスペースレジデンスー 東京都墨田区立川 2-14-7

※結果は2023年9月下旬までに二次選考参加者すべてに個別にご連絡いたします。

結果発表：2023年10月上旬（ウェブサイトにて発表いたします。）

※選考の経緯、結果に関する個別の問い合わせは受け付けておりません。

## 9. 応募方法

[応募申込]

ウェブサイトからアプリケーションパッケージをダウンロードしてください。

「応募書類・資料作成マニュアル」(Manual.pdf)をご確認の上、**10. 応募書類・資料 [1]アプリケーションフォーム①（基本情報入力フォーム）、アプリケーションフォーム②（活動経歴・応募動機）、[2]推薦状1通**を**12. 応募書類送付先**までメール添付にてご送付ください。その際、メールの件名に【お名前（フルネーム）：2024 年度国内クリエイター制作交流プログラム応募】と記載してください。

[作品データ提出]

メール受信日から5営業日以内に、**10. 応募書類・資料 [3]作品データ**の提出先 URL をお知らせしますので、2023年7月3日（月）日本時間 23:00 までに指定のリンク先にデータをアップロードしてください。

## 10. 応募書類・資料

[1] アプリケーションフォーム（PDF ファイル）

フォーム①（基本情報入力フォーム）

フォーム②（活動経歴・応募動機）

[2] 推薦状1通（PDF ファイル）

芸術に関わる専門家（学芸員、批評家、大学教員など）からの署名入りの推薦状。

※推薦状執筆者の情報を「アプリケーションフォーム②(活動経歴・応募動機)」の 3) 推薦人に記入してください。

※A4 用紙に日本語または英語で書かれた署名入りの推薦状原本をスキャンし、PDF ファイルにしてメール添付にて、2023年6月26日（月）日本時間 18:00 までにお送りください。

[3] 作品データ

アプリケーションフォーム②(活動経歴・応募動機)の 12) 過去プロジェクトに記入した作品データ。

※「応募書類・資料作成マニュアル」を参照の上、作成してください。

※指定したフォーマットや方法以外で応募された場合、審査対象外となる場合があります。

※提出資料は一定期間保管後、処分させていただきますのでご了承ください。

#### 11. レジデンス施設ならびに設備

滞在先：TOKAS レジデンシー（東京都墨田区立川 2-14-7）

居室：シングルルーム（25 m<sup>2</sup>）／ツインルーム（49 m<sup>2</sup>）

（キッチン、トイレ、浴室、家具<ベッド、デスク、椅子等>、冷蔵庫、エアコン、食器、タオル、リネン類）

共有設備：Wi-Fi（終日利用可）

共有スペース（利用可能時間：9:30～22:00）：交流室（キッチン、パソコン、プリンター、TV）、図書室、ランドリー（洗濯機、乾燥機）、1階スタジオ（125 m<sup>2</sup>）、5階スタジオ（48 m<sup>2</sup>）

#### 12. 応募書類送付先

応募先：[apply\\_residency2024@tokyoartsandspace.jp](mailto:apply_residency2024@tokyoartsandspace.jp)

※本メールアドレスは応募申込専用です。ご質問等には回答致しかねますのであらかじめご了承ください。

※応募申込後のアプリケーションフォームや作品データの差し替え・変更は受け付けません。

#### 13. 問い合わせ

プログラムに関するFAQ（よくある質問）はウェブサイトに掲載されています。掲載されているFAQ以外のお問い合わせについては、2023年6月2日（金）までに下記メールアドレス宛にお送りください。質問への回答は、2023年6月9日（金）以降にFAQに追加し公開します。

Email: [contact\\_residency2023@tokyoartsandspace.jp](mailto:contact_residency2023@tokyoartsandspace.jp)

※原則として、個別での回答は行っておりません。また、電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

#### 14. 個人情報について

いただいた個人情報は、本公募に関する連絡のためにのみ利用します。応募者の個人情報を正当な目的以外に無断で使用することはありません。

※本事業は令和6年度事業となるため、令和6年度事業計画及び予算が令和6年3月31日までに公益財団法人東京都歴史文化財団理事会の議決及び評議員会の承認を得た場合において、令和6年4月1日に実施が確定されます。